

漁協女性部が避難道に桜の植樹

2月6日、高知

県漁協佐賀統括支所の漁協女性部が桜の植樹を行いました。

きっかけは、津

波避難訓練。漁協女性部員に聞いたところ、「私たち漁協女性部は、南海地震に備えて津波避難訓練を行っています。その訓練の中で、避難道に桜の木があったら散歩をするのにもいいね、という話が出て、役場へ相談しました」とのこと。

今回は、佐賀地域沿岸の津波避難道へ、地域の方々の協力も得ながら、総勢22人で30本の桜の苗を植えました。
(林業振興係)



この桜の苗は、日本さくらの会から寄贈され、宝くじ助成事業を通じて植えたものです。



あったかふれあいセンター サテライトかきせ開所

2月9日、旧馬荷小学校で、あったかふれあいセンター事業が開催され、馬荷地域内外から30人が集まりました。

事業実施はNPO法人しいのみ。

昨年からの地域と協議を重ね、「あったかふれあいセンターサテライトかきせ」と命名し、定期的開催することが決まりました。

初日は、血圧測定と一人ひとりへの聞き取り、足ツボマッサージ、トランプ、ビーズ飾りづくりなどを行いました。昼食は地域ボランティアが手づくり。おいしくいただき、笑顔いっぱいの日となりました。
(福祉係)



次回は、3月9日(月)に開催。お問い合わせは、旧馬荷小学校(☎43-3306)へ。

一般国道56号「柳の川橋」 入野小学校児童が工事を見学

国土交通省中村河川国道事務所では、旧大方町市街地の交通安全の確保および交通混雑を緩和するため、一般国道56号大方改良の整備を進めています。

2月6日、柳の川で行われた橋桁の架設工事を、入野小学校4年生19人が現場見学しました。

模型を使った橋桁の仕組みについて学習した後、1本15トンの橋桁をクレーンで架設する様子を見学。高所作業車に乗車して、上からの眺めも体験しました。

また、橋桁の側面に好きなイラストやサインなどを書いて、見学会の思い出としました。



イラストは橋が完成したら見えなくなりますが、見学会の思い出とともに橋の中に残ります。

町内のNPO・ボランティアら 地域ネットワーク会議を開催

地域で活動するNPOや関係機関とのネットワークづくりを目的に、2月3日、「NPO地域ネットワーク会議in黒潮」が行われました。高知県ボランティア・NPOセンターと高知県が主催。

町内NPOやボランティアグループ、中間支援のNPOや社協・町職員ら約30人が参加。お互いの活動紹介の後、班別ワークショップで、NPOと行政それぞれの弱み・強みと協働の可能性について話ししました。参加者からは「お互いの得意を生かして、役割分担をしながらやっていきたい」との声も。今後の展開に期待しています。



市町村単位でのネットワーク会議は初開催。参加者同士で活発な意見交換と交流を図りました。